

# 第1回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

日 時：令和3年8月20日（金）午前10時から午前11時30分まで

場 所：市庁舎3階 A・B会議室

委員出席者：【委員長】日本大学生産工学部建築工学科教授 廣田直行氏  
【副委員長】公認会計士 吉田恵美氏  
【委員】 千葉工業大学創造工学部建築学科教授 佐藤史明氏  
習教研音楽部会相談役 市立第六中学校校長 横平佳子氏  
（公財）ちば国際コンベンションビル代表理事 伊藤 稔氏  
元千葉交響楽団理事長  
特定非営利活動法人生涯学習応援団ちば理事 玉浦洋子氏  
習志野市商店会連合会会長 高橋 賢氏  
（欠席：習志野市芸術文化協会事務局長 三戸良子氏）

事務局出席者：政策経営部 部長 竹田佳司  
次長 芹澤佐知子  
総合政策課 課長 越川智子  
係長 高橋宏明  
主査 濱崎芳信  
主任主事 大下恵  
生涯学習部社会教育課 課長 藤原友哉

議 事：委嘱状交付式次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付・委員紹介
- 3 事務局紹介
- 4 閉会

会議次第

開会

第1 委員長の選出

第2 副委員長の選出

第3 会議録の作成等

第4 会議録署名委員の指名

第5 議事

（1）習志野文化ホール再建設基本構想（案）について

第6 その他（事務連絡等）

閉会

# 第1回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

- 資 料：①再建設基本構想（案）  
 ②習志野文化ホール及び類似施設調査に基づく考察  
 ③文化ホール再建設検討に関するヒアリング  
 ④過去10年間の習志野文化ホール利用実績一覧  
 ⑤パイプオルガン・オーケストラピットの使用実績  
 ⑥習志野文化ホールを軸とした「音楽のまち習志野」の市民等の文化芸術活動について  
 ⑦ホール音響測定

## 議 事 録：

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 及 び 決 定 事 項
	<p>委嘱状交付式</p> <p style="text-align: center;">開 会</p> <p style="text-align: center;">委嘱状交付・委員紹介</p> <p style="text-align: center;">事務局紹介</p> <p style="text-align: center;">閉 会</p> <p>会 議</p> <p style="text-align: center;">開 会</p> <p>出席委員は、8名のうち7名であるため、本委員会は成立した。</p> <p style="text-align: center;">議 事</p> <p>日程第1、委員長の選出について。指名推薦により廣田委員が委員長に選出される。</p> <p>日程第2、副委員長の選出について。会長一任により吉田委員が副委員長に選出される。</p> <p>日程第3、会議録の作成等について諮る。</p>

## 第1回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

	<p>会議録については、要点筆記とし、会議名、開催日時、開催場所、出席者氏名、議事事項、会議内容、発言委員名及び所管課名を記載したうえで、非公開の議事事項を除く記録について、本市ホームページ及び市役所グランドフロアの情報公開コーナーにおいて、公開することについて諮り、了承を得る。</p> <p>日程第4、会議録署名委員の指名について、佐藤委員及び高橋委員の指名について諮り、了承を得る。</p> <p>日程第5、議事（1）習志野文化ホール再建設基本構想（案）について 〈資料①～⑦に基づき事務局より説明〉</p>
<p>廣田委員長 佐藤委員</p>	<p>只今の説明についてご意見、ご質問を伺う。</p> <p>気付いたことを諸々述べさせていただく。このようなホールでは、建築の計画上、日常から非日常への演出について気にかけていただきたい。また、設計会社は既に理解しているだろうが、雨に濡れない動線の確保。トイレのことについてもバリアフリーなどの意見が上がっていたが、一番興ざめするのはトイレで並ぶことと考えており、それは絶対的にトイレの数が不足しているということである。数を増やすと面積を取ることであり、非日常の空間で良い音楽を聴いて、休憩中にトイレに人が並んでいるという点は興ざめなので気を配っていただけると嬉しい。</p> <p>ホワイエについては図面の提示が無いため詳細は分からないが、おそらく駅に近く人が多く集まって、そこからつながっていくとホワイエや共用部分や通路が繋がりが、そういった空間は音が響きすぎてしまうことがある。地下通路、共用部、ホワイエなどである。人が集まる場所の意匠を優先するとガラス張りなどになり響きすぎてしまうことがあり、非常時に危険である。火災発生時の誘導のアナウンス等が聞こえなくなるため、ホールの外やホワイエ、人が集まる共用部についても少し天井を吸音とするだけでも大きく聞き取りやすさが違ってくるため、ホールとは違った意味で音響に注意していただきたい。</p> <p>多目的ホールという想定資料となっており候補から外れたのであろうが、資料ができるまでにヴィンヤード型やアリーナステージ型等の音楽専用ホールの多目的利用化についても検討はされてきたか。プロセニアムがないホールであっても幕を活用し式典に活用している事例がある。せっかくの新築において、同じものを造っては芸がないという意見もあるのではないかと。</p> <p>基本構想（案）を作成するにあたり、利用者等にヒアリングを行った。ヒアリングの中で現状と同様のプロセニアム型とするかヴィンヤード型とするか伺った。その回答として、全ての方からプロセニアム型が良いという意見をいただいた。当初は、フラットな状態からの検討を予定していたが、結果的にヴィ</p>
<p>事務局</p>	

## 第1回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

伊藤委員	<p>ンヤード型は組上に上がる前に、プロセニウム型の案となった。</p> <p>一つ確認をさせていただくが、冒頭でもあった 1500 席、それから音響の維持を含めて 100 億円程度でということをして市議会においても方向性が決定されているということによいか。</p>
事務局	<p>金額については、資料②の中で提示されている類似施設の面積当たりの単価を基に、新しいホールの仮の想定面積を単純にかけ算出しただけである。現案は決まっているということではなく、市議会で（予算を）決定する段階のものではない。図面の検討を進めなければ金額の算出は難しいが、全体の規模感を把握するために算出したものであり、おそらく建築費用のみで約 80 億円程度かかるものと考えており、更に保留床を取得するという事となれば 100 億円に達することもあり得る。それについては今後も継続して検討を行うものであり、容認されたものではない。</p>
伊藤委員	<p>再開発事業の中の保留床を取得するというイメージか。</p> <p>千葉県に 38 年間勤めており、その間に県の財政或いは市町村財政に関わる仕事を何年か担当した。バブル前に、あちこちで色々な施設を競うように作り、そしてまたバブルがはじけた後、その維持管理費に相当苦しみ、財政の方でも予算を削り、毎年経常費カットということで、本当に必要な維持管理費が付けられない状況で、適正な維持管理ができずに、施設の活用もなかなかできないということを経験してきた。</p> <p>今の形を維持するという事で、バリアフリー化はやらざるをえない訳であり、緞帳も 2000 万円でリニューアルするのがよいか、もうほとんど議論するところがないのかなと感じた。</p> <p>いずれにしても、100 億円使って、1500 席や現在の音響、或いはパイプオルガンを維持し、それを習志野市民に、文化水準を上げてもらうためのものを与え続けていくんだという、市の覚悟があるかだけの問題なのではないかという気はしている。</p> <p>また、感想としては、（金額が）そんなにするのかなと思っている。フラットのアリーナ型でいくと、横浜にぴあアリーナが新しくできたが、約 1 万 2000 席で、約 100 億円と聞いている。約 100 億ということで、それと比較すると、結構な値段がするという印象である。</p> <p>最後に、毎年約 1 億 4000 万円の（運営）予算というのは、使用料等を除いた市の負担額ということによいか。年間ベースではどのくらいの維持管理費がかかっているのか。</p>
事務局	<p>1 億 4000 万円は、施設運営を行っている公益財団法人習志野文化ホールへ指定管理料として支出している。</p> <p>それ以外に文化ホールの使用料収入が 8500 万円から 8000 万円程度ある。</p>

## 第1回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

吉田副委員長	<p>習志野市は類似規模の近隣市と比較した場合、佐倉市、流山市、八千代市より住民一人当たり資産額が圧倒的に多いという結果が出ているが、更に多くなるのかと感じた。浦安市は習志野市より多い額であるが税収が非常に多い。今後習志野市の生産年齢人口が減少していく中でどのように考えていくのかと思っている。</p> <p>事業費の話があったが、計画案の中に事業費としてこれだけかかり、その後、運営していく中でどの程度かかってくるのかについて、新地方公会計制度の方が一般市民にはわかりやすい数字になると思う。そちらについても、反映をしていくような検討をお願いしたいと考えている。</p> <p>もう1点だが、「音楽のまち習志野」はとても大切なキーワードであると認識しているが、音楽に関わる場所だけに力を入れすぎていないかとも考えられる。例えば、美術をされている方からは、そのように思われる面もあるのではないかと考えている。</p> <p>音楽に力を入れていく面はとても重要だと思うが、音楽だからという理由でそこだけに何でも注ぎ込むというのは、なかなか住民合意を得られないのではないかと感じている。</p>
廣田委員長	<p>本日が最初の基本構想等検討専門委員会であり、何を検討するかという疑問の発言もあるが、例えば、運営のPFI方式、リハーサル室の規模、それから機能面で何に特化していくか等色々なテーマがある。</p> <p>今後の進め方については、事務局で何を審議するかを絞って議題提案していただきたいと思う。それについては2回目以降に明確にしていく。</p> <p>例えば近隣の調査結果があるが、1980年代に多目的ホールは無目的ホールというような論文が幾つも出されている。その他、習志野の特徴としては、小中学生から敷居が非常に低い音楽ホールで、市民みんなが使える身近な施設になっているところが、他と違うところである。</p> <p>そういうことも含め他施設との関係、そして習志野市のこれまでの歴史を踏まえて、機能設定について考えて意見をいただきたい。</p>
玉浦委員	<p>基本構想案を読んで、私自身習志野市民として愛着があるホールであり、アンケート結果を見ても、この財産は絶対無くしたくないという意見があって、ほっとしたところである。交響楽団、オーケストラの立場でいうと、本当は音楽の専門ホールが欲しい。そして、改修により千葉県文化会館も客席数が減り、市川市文化会館も同じ程度になり、習志野文化ホールも約1500席程度だとすると、各市町村に同じような規模のホールが存在することとなる。席数だけの問題ではないが、習志野文化ホールに特化したようなものを作りたいと考える。更に申し上げれば、近隣の市町村と協力をして、A市は例えば音楽、B市は例えば何々等、それぞれに特化する、そのような連携が将来できていけば、市民の税金で作ったとしても、広域的に色々な立場の人がそれなりに満足</p>

## 第1回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

	<p>できるようなものができるのではないかと考える。しかしながら、今の段階ではそれは非常に難しく、また市民全体の文化ホールという意味でも、音楽専用ホールを作るのは難しいとは思う。</p> <p>また先程、多目的ホールは無目的ホールという意見があったが、別の言い方をすると多目的ホールは、全部が中途半端になってしまい、何の特色も無いものとなってしまいがちである。これまでのホールの色々な改善点を全部吸い上げ、それを最大限整理・実現させていく方策ということが重要なのではないかと考えている。</p> <p>最後に、11tトラックという文言が何か所かあり、この駐車スペースは整備しなすとなっている。他に、緞帳は残します、それからオーケストラピットは不要というように、はっきりと書かれている箇所が何箇所かあるが、その中で11tトラックのスペースを確保するという記載がある。11tトラック2台分となると相当広い。現ホールでは4tトラックがようやく入る程度の狭い駐車スペースだが、1階にそれが確保されることになるのか。また、それはどの程度の頻度で必要とされているのか。</p>
事務局	<p>平成28年度の実績として11tトラック1台のみでの搬入が年間30回、2台以上での搬入が年間14回となっており、令和元年では、1台のみでの搬入が年間30回、2台以上での搬入が年間10回である。したがって年間40回程程度の11tトラックでの搬入がある。</p>
玉浦委員 事務局	<p>11tトラックを使用するのは興行に限られるか、市民団体も使用するのか。</p> <p>興行事業者のみである。市民団体が11tトラックを使用した実績は聞いていない。一方で、魅力的な興行を行う中では、11tトラックを止め置き出来ないことがネックになっている。指定管理者からは、11tトラックの留め置きは必須で検討を進めるよう要望がある。</p>
玉浦委員	<p>興行のため、収益のためということだと思うが、それだけ広大なスペースならば、限られたスペースであろう中、より市民に還元できるスペースにならないかとも思う。</p>
廣田委員長	<p>文化ホールの場合、広域圏で機能設定するということは、常識的なことであり、それについても、この委員会で議論するテーマになっていくと思う。</p> <p>良い計画になるよう、今後ご意見いただきたいと思っている。</p>
高橋委員	<p>私が常々感じているのはバリアフリーである。</p> <p>本委員会では文化ホールのことを話しているが、関連している商業施設、それから社会環境、周辺環境において障害を除くということで、これはまちづくりの根底になればいけないことで、当然と考える。</p> <p>次に、トイレの話が出たが、これも当然のことである。</p> <p>奏の杜のまちづくり検討部会長を仰せつかり、どのような街をつくるかという時に、安全安心ということでの照明の問題や、それから防犯カメラの問題が</p>

## 第1回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

佐藤委員	<p>ある。このモリシア津田沼周辺に、私どもの商店会独自で、19基の防犯カメラを設置して、保守管理している。それから照明も108基269台の街路灯を、商店会で運営保守管理している。</p> <p>また、やはり、まちづくりからバリアフリーは当然のことと考えている。</p> <p>さらに文化ホールのバリアフリー化とトイレの話であるが、これは文化のバロメーターである。トイレは衛生的で待たないで済む、または化粧をしたり、子どもを連れてでも楽に入れる、これは当然であり、音楽を語る以前の問題である。</p> <p>かつて多目的ホールは無目的ホールと言われたが、時代は変わり、技術でスーパー多目的ホールを作ることができる時代になってきた。しかし、お金が必要ということである。</p>
伊藤委員	<p>パイプオルガンの使用率が低いという話が出たが、横浜では昼にワンコインコンサートなどを開催し、どんどん開放している。そういうソフト的な面も、考えればいいのかと思う。</p> <p>事業費の話ばかりになるが、保留床を取得し、こちらの基本計画を事業者にお願いをし、それに合った設備を整備してもらおうということだと思うが、先程から話があるように例えばPFIであるとか、運営権を売却する等色々な手法がある。</p> <p>色々な検討をされた上で、ホールを市が持つという結論に近いものが示されているのであろうが、市民の皆様にも、いろんな検討した上で市が直接所有物として作り、指定管理者というところで運営をしていくことがベターだということができるように示していただければと思う。</p>
事務局	<p>PFIの導入については、プラッツ習志野ではやっている。それについては今回は馴染まないとわかるようなものを、後で示していただければと思う。</p> <p>前提として、本日の資料①としてお示ししている基本構想（案）は現時点で行政がこれまでの調査やヒアリング等を基に作成した案（たたき台）であり、決定しているものではない。これから本委員会において意見をいただき、この案を修正し練り上げ、その上でパブリックコメントを行う予定となっているものである。</p>
伊藤委員	<p>また、事業手法については目次にも記載した通り、次回以降に提示しご検討いただく予定である。</p> <p>何が議論の対象なのか、もう少し明確に示していただき、事業費も提案をいただいで議論をできればと思う。</p>
廣田委員長	<p>今日はキックオフということで総論としてイメージを掴むことが目的だと認識している。多方向からご意見をいただき、今日は示させていただきたいと思っている。</p> <p>説明があったように、現段階では決定していないこの構想案について、これ</p>

## 第1回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

<p>吉田副委員長</p>	<p>から意見をしていくという段階であり、ゼロの段階からご意見をいただいきたいと思う。</p> <p>まずは、事前に配布された基礎資料となる調査資料と今日配布された資料も含めてご一読いただき、次回に望めればと考える。</p> <p>類似施設として千葉県文化会館と市川市文化会館が挙げられているが、私は千葉市で指定管理者の選定評価委員をする中で、千葉市民会館について所管部会で座長を務めている。</p> <p>まだ報道レベルではあるが、現在は千葉駅から少し離れた場所にあるが、駅に近い位置への移転計画も、一つの案として今進められている。</p> <p>千葉県文化会館や市川市文化会館は少し駅から遠いかと思うが、競合するのは、むしろ千葉市民会館の移転になるかと思う。こちらの情報について、千葉市の方が市民人口がとても多く、アクセスの面においても強みがあるので、千葉駅と津田沼駅の関係も有り、類似施設として挙げた方がよいかと感じた。</p>
<p>廣田委員長 横平委員</p>	<p>それについて資料の準備をお願いします。</p> <p>学校現場、また子供たちに携わっているものとして、要望や意見を話させていただければと思う。</p> <p>習志野文化ホールは昭和 53 年に開館したが、初めてホールに行って、そこで演奏を聞いたときに、中学生ながらも非常に良いホールで大変感動した覚えがある。周りの子どもたちも習志野市にこのようなホールがあることを大変喜んだ。</p> <p>教員になり、子どもたちと一緒にステージの上で演奏する立場で音楽に関わっていると、小さいからこの程度でいいというのはないと思っている。やはり小さい時から良いものに触れさせるということが感性を育む上では一番だと思う。</p> <p>そういう意味では習志野市には大変よく学校教育の場を理解し、文化ホールを全ての子どもたちが使う機会を提供していただいている。小学生については 5 年生が、年に 1 回行われる小中音楽会に全員合唱で参加している。子どもたちはそれを目標にして練習に励み、保護者も喜んでいる。中学に入ると、合唱コンクールがある。3 年間欠席なく出るとステージ上で 3 回歌えることになり、文化ホールで歌えるということに対して非常に価値を見出している。</p> <p>色々なホールで子供たちと演奏した経験があるが、習志野文化ホールの響きや設備、そして清潔感においては、昭和 53 年にできたのに、あれだけ綺麗な状態を保っているホールは無いと思っている。汚いと気持ちも汚くなる。綺麗だと綺麗に使わなければいけないという気持ちになる。そういう気持ちも子どもたちの中に備わる。ここのステージは一流の音楽家が乗るんだよとか、本当に綺麗だからやっぱり綺麗にして次の人に渡さなきゃいけないよねとか、そういう教育にも役立つホールとなっていることを痛感するので、今の質は落とし</p>

## 第1回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

<p>廣田委員長</p>	<p>で欲しくないと考えている。</p> <p>子どもであっても大人であっても、良いものは良い、悪いものは悪い。小さいころから感性に磨きをかけるということが非常に大切であり、習志野文化ホールが習志野市のシンボルとしてあることを誇りに思っている。</p> <p>そのような観点からも、できればパイプオルガンはキープしておいていただきたい。パイプオルガンの演奏は、小・中学生は必ず1度は聞いている。稼働率を上げるということになると難しいのかと思うが、宣伝の方法がまだあるのではないかと思う。</p> <p>少し話がずれてしまうかもしれないが、習志野市歌が市制60周年の時にできたが、市歌がある市は実は多い。ところが、市民が知らない。そこで習志野市では学校で入学式、卒業式で歌えるようにしようという話が上がり、学校で指導するようになった。そうすると何年かすれば全員が歌えるようになる。今はほとんどの子どもたちは歌えるという状況で、成人式でも歌っている。</p> <p>何年かかけてでも、文化ホールの価値がわかるようにするためには、やはり小さい頃から接することが大事だと思っている。その経験によって習志野市には文化ホールがあって、非常に役立っているのだよとか、ここでぜひ演奏したいなとか、聞きたいなとか、行ってみようという気持ちが育まれると思う。</p> <p>本日、委員の皆様から意見をいただいたものをまとめると、まず設置理念、このホールの設置理念についてである。それから、広域連携との関連で、今後の習志野文化ホールにどのような特徴を持たせるか、または特徴が必要なのかという問題である。それから、市民利用等施設運営の位置付けについてである。営利の運営と市民の存在意義を含め市民利用のあり方、それが3点目にある。そして、部分設計と基本機能の設定である。</p> <p>これらについて、次回以降テーマを絞り意見をいただけるような資料を準備していただき、議論を進めていきたいと考えている。</p>
<p>廣田委員長 事務局</p>	<p>続いて、日程第6、その他について、事務局から連絡等があれば伺う。</p> <p>本日提示した資料①基本構想案について、言い切りの記載となっている部分があるが、あくまでも案であり、議事の冒頭に説明申し上げたとおり、今後の委員会において「いや、そうではない」とか「もっとこうではないか」といった修正についての意見をいただきたいと考えている。議論の対象については、これまで市議会において多く議論されているのは座席数である。規模については現状の維持を望む声が圧倒的に多いが、金額に跳ね返ってくることでもある。現状では1500席の維持という方向性で事業者と交渉を行っているが、市議会においても色々な意見をいただいている。</p> <p>また、パイプオルガンやオーケストラピットも議論の対象となっている。興行と市民利用の関係についても、もっと良い興行を呼んでほしいという意見も</p>

## 第1回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会 議事録

	<p>根強くある中で、本ホールは市民利用が基本であることから、そこをどうするべきなのかと考えており、11トラックの在り方にもつながってくる。</p> <p>色々な方に意見を伺い、基本構想案をまとめたが、不足等もあると想定することから、本委員会では忌憚のない意見をお願いしたいと考えている。</p> <p>今後の審議会の日程について、第2回を11月9日（火）午後1時30分から市庁舎5階の委員会室で開催するため、ご予定に入れていただけるようお願いしたい。</p>
廣田委員長	以上で、日程第6、その他を終了する。
廣田委員長	<p>以上を持ちまして第1回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会を閉会する。</p> <p style="text-align: center;">閉 会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>